



JTUC-aomori

No.346 2018年10月10日

# れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会  
青森県連合会(連合青森)  
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子  
青森市本町3丁目3の11  
青森県労働福祉会館内  
TEL (017)735-0551  
FAX (017)735-0553  
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>  
月1回発行 1部10円  
(組合員の購読料は会費の中に含む)

## 青森県最低賃金が24円アップで762円に！

### 発効日は10月4日



8月8日開催の青森地方最低賃金審議会において、「今年度の青森県最低賃金（地域別最賃）を1時間738円から24円引き上げ762円とする」との答申がされた。その後、官報に公示を行ったところ全労連から異議申し立てがあったが、答申内容はそのままで結審した。

発効日は10月4日。この最低賃金はパート・アルバイト等の非正規労働者を含む青森県の全ての労働者に適用される。また派遣労働者には派遣元ではなく、派遣先の産業別最低賃金（12月21日発効）が適用されることとなる。

連合青森は、青森県の最低賃金が改定された翌日10月5日（金）、青森市の「さくら野百貨店」前にて使用者に対し引上げの遵守、また労働者にも1時間762円以下で働くことがないように周知す

る街頭行動を行った。

連合青森内村隆志会長は「最低賃金は法律であり、制度を守らないことは処罰対象になることを経営者に改めて認識いただきたい」と強調した。続いて人口減少のひとつの要因ともなる少子化問題に触れ、「生涯未婚率が2割以上となっている今、結婚しない理由は、安定した生活を送ることができる賃金を得られていないことにある」と低賃金で働く非正規労働者の増加に警鐘を鳴らした。また10月7日が国際労働機関（ILO）が提唱する「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）世界行動デー」であることをうけ、すべての人が生きることの価値を見いだせるような人間らしい仕事が保障される安定的かつ持続的な社会基盤構築の必要性を訴えた。

青森県の法定地域別最低賃金は

深夜（午後10時～午前5時）

2018年10月4日～

762円

1時間  
あたり

953円

25%  
割増

下回ったら、法律違反！！

※最低賃金の金額未満で働かせた場合は、使用者には従業員1人あたり50万円の罰金が科せられます。

## 学習やレクリエーションで親睦深める

### 2018ユースラリー&列島クリーンキャンペーン

連合青森青年委員会（三國秀介委員長）主催による「連合青森2018ユースラリー&列島クリーンキャンペーン」が9月15日（土）～16日（日）、東北町で開催され、青年・女性組合員41名が参加した。

ユースラリーは青年・女性組合員の学習と交流の場として毎年開催されているもので、開会式で三國委員長は「交流、コミュニケーション、人と人のつながりを大切にして楽しむことが今、青年に重要な活動と考える。この2日間、誰よりも楽しんでいただき、この楽しかった思いを職場の仲間にも伝えてもらいたい」とあいさつした。

初日は青森原燃テクノロジーセンターで「男女平等学習会」「夕食交流会」、センターから乙供駅までの清掃活動「列島クリーンキャンペーン」を行った。学習会では連合青森大澤祥宏副事務局長が講師を務め、労働組合が男女平等に取り組む意義や女性の社会進出に必要なことは何かなど提起した。続いて5班に別れ「雪山で生き残るために必要な10のアイテムは何か」という設問に各班全員で話し合い、回答を導き出すコンセンサスゲームを行い交流をはかった。清掃活動後の夕食交流会では、上十三地協青年委員会主催による班対抗



お絵かき伝言ゲームで大いに盛り上がり、バーベキューを囲み楽しい時間を過ごした。

二日目、東北町町民体育館で行われたスポーツレクリエーション「班対抗ソフトバレーボール大会」では珍プレー好プレーが続出し、どのゲームも熱戦で盛り上がりを見せた。結果は昨日のコンセンサスゲームで最下位だったA班がみごと優勝を果たした。

## 教育文化活動「連合青森カーリング教室」を開催

連合青森は教育・文化活動の一環としてこれまで「囲碁将棋大会」や「カラオケ大会」を開催してきた。今年は健康維持増進に向け、老若男女を問わず楽しめるスポーツ「カーリング」を体験することとし、9月24日（月・祝）13時から青森市スポーツ会館で各組織から20名が参加し汗を流した。

参加者の大半はテレビで見た事はあるが、ストーンに触るのも氷上をブラシで掃くことも初体験というドキドキの中、インストラクターからルールや基本フォームを学んだ。最初は氷上を滑るのもままならない状態だったが、約2時間の練習後は皆、コツをつかみゲームが出来るまで上



達。狙ったところにストーンが投げられると拍手や歓声があがり大いに盛り上がった。

## 田名部参議院議員、退職者連合人見会長から講演を受ける 「2018年青森県高齢者集会」184名が参加

青森県退職者連合（川村数彦会長・会員9,720名）は、9月22日（土）13時から県労働福祉会館において、今年5回目となる「2018年青森県高齢者集会」を開催した。県内6地域退職者連合や各構成組織から184名が参加し、会場は一杯となった。

集会は泉事務局長の司会で進行し、主催者を代表し川村会長は「青森県退連として今後も年金・医療・介護など社会保障の課題に取り組むとともに、来年7月の参議院選挙に全力をあげる」と決意を述べた。その後、来賓の連合青森内村会長の挨拶、東北各県からのメッセージが紹介された。

### ○野党共闘の重要性（田名部）、持続可能な社会保障制度（人見）を訴える

第1部の「講演1」では、田名部匡代参議院議員が「国会情勢と来年の参議院にむけて」というテーマで講演を行い、田名部議員は安倍政権の問題点を厳しく指摘し、「原点に返って必ず力を合わせる時が来る」と野党共闘の必要性を訴えた。

続いて「講演2」では、日本退職者連合人見一夫会長から「社会保障をめぐる情勢と退職者連合の課題について」と題し講演を受けた。人見会長は、人口減少・超高齢化社会が進み社会保障費が年々増加する中で「どういう社会を目指すのか」



川村退連  
川村会長あいさつ



団結  
ガンバロー三唱

問われている」として、退職者連合の課題は「持続可能な社会保障制度の構築」にあると提起した。

### ○会場での募金39,231円を集約、県社協へ送金

第1部終了後、高齢者福祉活動に活用するため、今年も青森県社会福祉協議会への募金活動を行い、39,231円が集まった。第2部のアトラクションは、「エイジレス・ライフ実践事例(個人)」で内閣府から表彰された加川恵美子さん（県職員退職者の会）のグループによる「七福神」の踊りが披露され、会場は大きく盛り上がった。

最後に、蒔田副会長が集会アピールを提案し採択、嶋田副会長の閉会挨拶、川村会長の団結ガンバロー三唱で成功裡に終了した。

## 加重平均で492,894円 (2.14ヶ月)

### 2018夏季一時金、 額・月数とも前年を上回る

連合青森は9月18日に開催された第10回執行委員会で2018夏季一時金・妥結状況(8月31日現在)について報告した。

※対象組合187組合

・妥結組合68組合

(昨年同時期99組合)

・妥結組合率36.36%

(昨年同時期54.40%)

・妥結額 加重平均492,894円(2.14ヶ月)  
(昨年同時期486,158円(1.99ヶ月))

以上ようになっており、昨年比では加重平均で6,736円、月数で0.15ヶ月上回っている。

Welcome!

## 第26回 食・みどり・ 水のフェスティバル

「青森県の美味しい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で連合青森加盟の労組が中心となって開催します。

【日時】 2018年11月3日(土) 10:00~16:00

【場所】 青森市「サンロード青森」

1F イベントホール

【内容】 支援米発送式・木工体験・野菜輪投げ・利き水コンテスト・地場産品販売・バルーンアート、お楽しみ抽選会、他。

## 問題が起こる前に労働組合の必要性を知ってもらう運動が重要！ 「非正規労働者に関わる組織化と処遇改善の取り組み事例」学習会

連合青森は9月11日（火）17時30分から青森市の県労働福祉会館にて学習会を開催し、各組織から30名が参加した。

この学習会は、非正規労働者の「処遇改善」「底上げ・底支え」「格差是正」はもとより、基本的なワークルールの周知・徹底を図ることを通じて、均等処遇の実現に向けた取り組みを強化し、社会への波及を図ることを目的に開催された。

主催者あいさつに立った連合青森非正規共闘連絡会議山内裕幸副委員長は「連合青森として非正規労働者に関わる取り組みは様々進めてきているものの、まだまだ社会へ浸透しきれていない現状にある。正規だけでなく非正規労働者の声も多く含んだ政策を実現するためにも、連合大阪の取り組みを今後の運動の参考にしてほしい」と述べた。

続いて連合大阪久保真光局長より「非正規労働者の処遇改善と組織化に関わる連合大阪の取り組み」と題し講演いただいた。久保局長はまず大阪府の雇用状況について「完全失業率は前年に比べ改善傾向にあるものの、非正規労働者数は増加傾向にある」と課題を述べ、「そもそも労働組合に加入したいとは思っていない非正規労働者の方々にも自身に問題が起こる以前に労働組合（連合）の必要性を知ってもらう、振り向いてもらう運動が重要な意味を持つ。そのアプローチ方法として



連合大阪久保真光局長

一方的な発信型ではなく、参加型で且つ、参加者が声を出せるイベントを企画・運営するなど連合大阪では行っている」と取り組みを語った。

### 連合青森第19回地方委員会

連合青森第19回地方委員会を下記にて開催する。

【日時】 2018年10月23日（火） 13：00

【場所】 弘前市「弘前パークホテル」  
弘前市土手町126

【報告】 (1) 2018年度活動報告  
(2) 2018年度会計報告  
(3) 2018年度会計監査報告

【議事】 (1) 2018～2019年度運動方針補強案  
(2) 2018年度一般会計収支剰余金処理案  
(3) 2019年度予算案  
(4) 第15期役員補充  
(5) その他

【他】 (1) 連合愛のカンパ地域助成金贈呈式

#### 2018年10月行動予定 10月10日現在

- 10月11日(木)17時45分 県労働福祉会館  
「第3回食みみ実行委員会」
- 10月19日(金)13時30分 県労働福祉会館  
「第8回政治センター幹事会」
- 10月23日(火)11時 弘前パークホテル  
「第11回執行委員会」
- 10月23日(火)12時 弘前パークホテル  
「野党連携に向けた協定書調印式」
- 10月23日(火)13時 弘前パークホテル  
「連合青森第19回地方委員会」
- 10月23日(火)上記終了後 弘前パークホテル  
「第1回地協議長・事務局長会議」

#### 2018年11月行動予定

- 11月2日(金)15時 連合青森  
「第5回女性委員会幹事会」
- 11月3日(土)10時 サンロード青森  
「第26回食・みどり・水のフェスティバル」
- 11月5日(月)11時30分 さくら野青森店前  
「連合の日街頭行動」
- 11月9日(金)18時 県労働福祉会館  
「東青地協第30回定期総会」
- 11月10日(土)14時 八戸市 三八労働福祉会館  
「三八地協第30回定期総会」